算数に対する学習意欲と自信の向上を目指した授業の提案と考察

楠　博文（初等教育学科）

The Proposal and Consideration of a Lesson That Aimed at The Improvement of Learning Motivation and Confidence to Arithmetic

Hirofumi KUSU（Department of Elementary Education）

抄録

算数科において，教師一人一人が，児童の自尊感情を高め，学習意欲や自信をもたせる力量を身に付けることは喫緊の課題である。そこで，本研究では，算数に対する学習意欲と自信の向上を目指し，「すべての児童が学習に参加する算数授業」についての提案と実践を行った。教師の発問と児童の発言のプロトコルを基にした授業の省察からは，算数に対する学習意欲と自信の向上には，「課題をつかむための導入の工夫」「中心課題を考える時間を確保する工夫」「思考や話し合いの場面にすべての児童を巻き込む工夫」の3点がよい影響を与えることが示唆された。

なお，本稿は，「算数科における『学び合い』の充実につながる方策の探究」（『パピルス』第21号，岡山大学算数・数学教育学会，2014）で取り上げた実践について一部を加筆し，そこで紹介できなかった授業記録もあわせて報告するものである。

キーワード：小学校，算数，学習意欲と自信の向上